

例会報告

第2256回例会報告議事録
日時 24年8月21日(火曜日)
場所 ホテル マークワン 我孫子
時間 12:15点鐘

ロータリーソング「奉仕の理想」
ゲスト:なし

会長挨拶

丸田会長



今日はこちらに向かう際に常磐線で人身事故があり、ぎりぎりになってしまいました。この暑いのに、そういう話を聞くと気が滅入ります。

元会員の畠山雅雄様がお亡くなりになり、本日18時からお通夜、22日に午前9時から告別式が行われます。現柏東RCの創立の際に特別代表をされておられました。慶弔規定通りの香典を準備したいと思います。

8月7日に柏南の納涼例会、19日に米山奨学会のセミナー等参加していただき、ありがとうございました。24日は柏西でローターアクトクラブとの合同納涼例会があり会長幹事が招待されています。9月11日は10分区の職業奉仕委員長とロータリー情報委員長の会議があります。9月24日が地区大会のゴルフ大会となっております。

会長になり、私もやせようと思い頑張っているのですが、なかなか80キロを切れません。なんとか会長任期中に70キロ台になるようにしたいと思います。実は前立腺がんで都立駒込病院に三ヶ月に一回通っています。昨年は数値の動きがなかったのですが、今年の初めに数値が上がって、精密検査をやりたいとお医者さんに言われたのですが、はっきりわからないのであれば精密検査はしたくないと断っています。

お盆休みもあり、ご報告が遅くなりますが、公式訪問後に得居ガバナーからお電話があり、地区の青少年交換が頓挫していて、我孫子RCの姉妹クラブの方で修復できないかというお話でした。が、既存ルートの方でうまく進んだそうなので、ご心配をおかけしましたとのことでした。

8月は会員増強月間です。9月は新世代の月間で、10月が職業奉仕と米山の月間です。その委員長に卓話をお願いしたいと思っています。

「ロータリーの友」に載っていたお話を紹介致します。福島原発で非常に被害を被っている飯館村の村長の菅野さんが昨年の国際ロータリーの2530地区の地区大会の中でお話した事です。

「日本には転換期は3回あります。武士の時代の終わり、軍人の時代の終わり、第三に、大震災の福島原発事故による、時代の流れが読めない者が滅びるという時代です。既成概念から脱却できない固い頭では非常にむずかしい時代になっているという事です。放射能は人と人との心を引き裂きます。福島県は被害だ被害だと大合唱している間に、「大変だね」から「福島は何を考えているのか分からない、たかしの県になっているのではないかと」と周囲の声が変わって来ています。自分たちが出来る事は自分たちでやっていく必要があるということを忘れて過ごしていた為にこういう事になったのではないかと、この試練は与えられた第三の転換期ではないかと考え、福島だけではなく日本全体、これから先どう考え、どう行動し、どう生きて行くのか一人一人が転換期として考えてほしい」と話されています。

我々印刷業界一つ取っても、新聞を賑わせている胆管がんで30代の方等、全国で4名亡くなって、厚生労働省から職場環境の調査や指導がたくさん入っています。ただ現在我々がインクの溶剤を使う頻度は多くはありません。今はデジタルブルーフィングができますが、少し前までは色校正会社で色校正を刷ってもらっていました。時代の流れでデジタル系の印刷機が導入されると、古い作業環境はもっと悪くなります。その結果、胆管がんで亡くなる方を出しましたが、これは全体のごく一部のことであり、印刷業の中で多発している訳ではなく、近隣に被害が及ぶ事もございませんので、ご安心ください。何か印刷のことで質問等ありましたら、聞いていただければと思います。

親睦活動委員会報告

塩毛親睦委員長

塩毛親睦委員長、お誕生日おめでとうございます。



塩毛親睦委員長より

「改めまして、ありがとうございます。前は欠席して申し訳ありませんでした。8月8日生まれ、そろ目の生まれです。そろ目の日は記念日が多いです。8月8日はパチパチでそろばんの日だそうです。屋根の日でもあります。ひげの日。ひょうたんの日。たこの日。笑いの日。白玉の日。洋食の日。ピアノの鍵盤が88あるそうで、鍵盤の日。デブの日。歯並びの日。パチンコの日。親孝行の日。おばあさんの日。発酵食品の日。クッション材のプチプチの日。パパイヤの日。葉っぱの日。蝶々の日。フジテレビの日。こういう話で誕生日の話に変えさせていただきます。ありがとうございます。」

出席報告

佐藤出席委員長

20名出席(全員で25名) 出席率80%

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金 額
荒井会員	ガバナー公式訪問の記念写真ありがとうございます。	2,000円
植崎会員	写真いただきました。	1,000円
上村晃一会員	星野会員からの豆の差し入れと写真を頂いて。	1,000円
上村文明会員	写真ありがとうございます。	1,000円
小池会員	ガバナー公式訪問の写真を頂きました。 また星野会員より豆を頂きました。ごちそう様でした。	2,000円
佐藤会員	実物以上の写りありがとうございます。	1,000円
塩毛会員	誕生日、写真、枝豆、ありがとうございます。	2,000円
澁谷会員		1,000円
鈴木会員	写真をいただきました。局長、豆をごちそうさま。	1,000円
高島会員	写真いただきました。	1,000円
野田会員	写真ありがとうございます。	1,000円
服部会員	本日ワイフが無事60歳、還暦を迎えることができました。	1,000円
星野会員	写真をいただきました。	1,000円
牧野会員	枝豆御馳走様でした。	1,000円
松本幹事	写真ありがとうございます。	1,000円
丸田会長	写真ありがとうございます。枝豆ありがとうございます。 セミナー参加会員ありがとうございます。	2,000円
米田会員	枝豆美味しくいただきました。写真もありがとうございます。	2,000円
当 日 計		22,000円
今期累計		62,000円

新世代委員会報告

服部新世代委員



遅ればせながら、冊子をお持ちしました。7月7日の職業奉仕委員会と新世代奉仕委員会の合同セミナーで手渡されたものです。台湾の皆さんから被災地に寄せられた手紙をまとめたものです。合同セミナーのテーマは「大震災にロータリーは何ができるのか」というものでした。被災地に思いを馳せて、何ができるか考えて実行に移してくださいとのことでした。この冊子の他に小冊子も用意されています。被災地の支援活動の仕方を説明しています。



おととい8月19日に千葉で米山の会議があり行ってきました。米山月間は10月です。お願い事を致しますのでよろしくお願い致します。

昨年配られた豆辞典ですが、今年度版が9月に出来上がりますのでご覧になってください。

米山梅吉さんが作られた米山奨学事業の使命は「将来、日本と世界を結ぶ架け橋となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成すること。具体的には留学生の優れた学業の達成を支援し、同時にカウンセラーや世話クラブとの交流を通じロータリー精神を学び、国際理解を深め、日本と母国の架け橋となる等国際親善に尽くす人材を育てることにある。その為に設けられた米山奨学生の資質は学業、異文化理解、コミュニケーション能力に於ける熱意や優秀性である」ということで、アジアの方を中心に奨学生制度があります。特徴的なのはカウンセラー制度があることです。ホームカミング制度もあり、今年の地区大会では米山で日本で勉強された方が記念スピーチをされます。

米山の現状ですが、赤字になってきておりまして、今年度は全国で、昨年度より100人減の700人になります。

米山の寄付については、一人4千円×人数分の寄付と、特別寄付というものがあります。我孫子クラブは昨年は特別寄付がありませんでした。10月に皆さんに又お願い致しますが、一人11,000円ずつご寄付をしていただければと目標を達成する事ができると思います。

昨今、領土の問題等で色々とかましいニュースが入ってきますが、大人の対応として、それを越えて交流を図り、日本を理解していただければと思います。

なぜ中国の方が多いのかというご意見もあります。選考の流れについてお話させていただきます。今年の場合、5月に地区内全大学に向けて米山奨学生の採用説明会の開催案内を発送し、6月に指定校選定委員会が発足され、6月11日に米山奨学生採用説明会開催、7月11日に指定校決定、非推薦枠、選考目安等決定、8月に指定校、応募要綱発表、申し込み期限が11月15日。11、12月が書類審査、1月に面接試験、2、3月に世話クラブ、カウンセラー依頼。今年は我孫子には来ていません。

赤字ですので積立金を取り崩しながら、米山の精神を貫こうということで頑張っています。

上村晃一会員より

60%近くが中国からの学生で、台湾と韓国からが30%程です。先日、中国からは30%にするという話を得居ガバナーがされていました。冊子を見ると、お金があろうとなかろうと優秀であれば選ばれるようです。恵まれなくても優秀で日本で勉強したいという人に出すという主旨でやっていると思います。その主旨に沿わなければ納得できません。今年から中国が30%以内に押さえられていけば出します。

幹事報告

松本幹事



松戸中央RC、野田RC、流山中央RCより活動計画書受理。

レンゲまつりについて

鈴木会員



来年のレンゲまつり用のレンゲの種まきを9月下旬から10月上旬で調整中です。種の金額は例年とほぼ同額で33,600円です。種まき以外の何かができるかどうか、皆さんのお知恵をいただきながら考えて行きたいと思っています。

今井会員がロータリー財団でカウンセラーをしておられますが、ラシドさんという方の報告です。昨年12月からオーストラリアのメルボルン大学で電子工学専攻で勉強しているそうです。3年後には修士課程が終わるそうです。

ラシドさんからのメール

1 / 1 ページ

メイン ユーザー

送信者: "rashid" <rashid081@gmail.com>
宛先: <now1.2@mbn.nifty.com>
送信日時: 2011年10月27日 19:10
件名: メルボルン大学合格しました。
今井さん、



こんにちは。ラシドです。
大変お世話になっております。

現在母国へいますがやっとオーストラリアのメルボルン大学 (University of Melbourne) から合格通知がありました。12月1日から向こうへ行くように準備しています。報告します。
奨学生として選ばれてくれまして大変ありがとうございます。
これからも宜しくお願いします。

—
With regards
Rashid

Dept of Electrical Engineering
University of Tokyo, Japan.

2012/08/15

終了レポート

Date: 10-Aug-2012

Mohammad Rashidul Quddes, 修士課程
電気電子工学専攻, メルボルン大学、オーストラリア
携帯: +61 4 5246 7573; 電子メール: rashid081@yahoo.com

Sponsored Club: RC Abiko
District 2790, Chiba, Japan.

Host Club: RC Footscray
District 9800, VIC, Australia.

私はロータリー奨学生としていつも心へ誇りを持っています。ロータリーの奨学生として留学できたことを我孫子クラブの皆様とフォッツケレクラブ皆様へ感謝をお詫びを申し上げます。私は2011年12月からオーストラリアのメルボルン大学の電気電子工学専攻で研究を進めています。第2学期の勉強と研究で日々忙しいです。この学期では博士課程へ進学を認めることにもなります。博士課程の研究を通して環境に優しい通信システムについて詳しい知識を得ることができる。3年後は課程を終了すると母国へ帰国し大学の指導教者として務める。

メルボルンのような街で生活することが良い経験になりました。いろいろ国の人々が一緒に住んでいることからいろいろ学ぶことができました。オーストラリアの発展に多くの国民たち一緒に貢献していることも素晴らしいです。グリーン通信システムに関する研究を進めています。インターネット、電話とテレビすべてをただ一つ線で提供できる。このようなインフラ建築したらエネルギーを1000分の1まで減らすことができる。バングラデシュを含めて海面の近い国々が温暖化問題にさらされている。この問題を解決するために発展している国々がさまざまな方法で問題を取り込んでいる。この研究によって地球温暖化問題を抑えることにも貢献できると思います。

私は自分の研究についてロタリアンと相談した結果いろいろコメントを頂きました。今まで私は5つロータリークラブと他6回のところでプレゼンテーション行いました。こどもでも私はロータリー奨学生でいること紹介しました。ロータリーについて知らないところもありました。私はロータリー財団とロータリー奨学金について紹介しました。海外で勉強することによって考え方や人生の意味がもう一度分かるようになる。特にロタリアンと会うことによって世界の人々のために何かをやらなければならない気持ちが強くなる。ロータリー奨学金はただ経済的な応援ではなくこの奨学金によって人

と人とのコネクションが重要であることが分かりました。ロータリアンたちはこのコネクションによって世界へ貢献しています。この奨学金によって私は沢山ロータリアンと会う機会がありました。皆様私をもっと夢を見るように、もっと頑張るように応援してくださいました。

ロータリー財団のオリエンテーションプログラムは大変役に立ちました。日本の我孫子クラブとオーストラリアの Footscray クラブの皆様特にカウンセラーたち私の海外の生活についていろいろ教えてくれました。皆様へ感謝の気持ちでいっぱいです。

オーストラリアへ到着する便が悪天気のために変更があったら元 DG, John Davis, と空港へ会えなかった。彼は心配して私の友達連絡し友達の家まで行き心配しながらお待ちしていました。このイベントは私は非常に重要である。彼以外にも日本のカウンセラー今井さん、メルボルンのカウンセラーエザヌルさんは忙しいときも私と連絡し、私の生活についていろいろアドバイスをくれました。私も時間があるときクラブを訪問していました。そのとき私の自己紹介または自分の研究について発表行いました。皆様から重要なコメント、応援が頂きました。このような活動によって私の発表能力が上昇しました。

将来の奨学生について一つだけのアドバイスがあります。‘世界を舞台にして自分を開いて見よう’。日本では学生たち一年前から就職活動で忙しくなり海外へ行きたくない学生が多い。しかし、海外の経験があれば将来人生でもっと成功することができる。

将来私はロータリーといろいろな形で現在の絆をもっと強くして行きたいと思います。日本へいる間、私は日本の小学校や中学校では母国の紹介行っていました。この活動によって他国について知識が強くなるだけでなく両国について信頼、尊敬と理解度が上昇する。オーストラリアでも私はこの活動を続けました。将来もこのような活動を続けていきたいと思います。母国の人々の役に立つような仕事をしたいと思います。

最後に、ロータリー財団とロータリアンへ大変ありがとう気持ち伝いたいです。

以上

ロータリーの友 事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp
メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村力コンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。